

第14回 わくわく科学フェスティバル
「お日さまで色が変わる紙を使ってしおりをつくろう！」（三条市）

会場： 三条市栄体育館
日時： 平成30年8月8日（水）10:00～15:30
主催： 三条市教育委員会
参加者数： 約800名（ブース参加者数：349名）
対象者： 幼児～小・中学生、保護者、一般
技術職員： 10名（主催側スタッフ1名）

テーマ： お日さまで色が変わる紙を使ってしおりをつくろう！

紫外線に反応し熱で発色する乾式の感光紙を用いて、自分で描いた絵や物の形を写し取り、その紙を用いたしおり作りを体験していただきました。光と熱による変化を通して紫外線を感じていただきました。



最初に紫外線や感光紙についての説明を聞いていただき、それから作業開始です。



皆さん出来上がりを期待しながら一生懸命にチャック袋に絵を描いています。

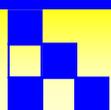


窓辺で感光紙を入れたチャック袋を日光に当て、色の変化を見ながら感光時間を調整しました。



ラミネータから絵が見えるまでワクワクしながら待ちました。かわいいパンダのしおりでした。

三条市教育委員会主催、第14回「わくわく科学フェスティバル」に今年も出展させていただきました。今回は紫外線に反応する感光紙を使って、太陽光の中の見えない紫外線の存在を確認しました。光にあたる場所とあたらない場所の違いやラミネータを通し熱により発色する場所は興味深そうでした。



青少年のための科学の祭典 2018 新潟県大会
「UVビーズでストラップを作ろう！」(長岡市)

会場：ハイブ長岡

日時：平成31年2月 9日(土) 10:00~17:00
10日(日) 10:00~16:00

主催：青少年のための科学の祭典新潟大会実行委員会

参加者数：16,609名 (ブース参加者数：492名)

対象者：幼児、小・中・高・大学生、保護者、一般

技術職員：14名

テーマ：UVビーズでストラップを作ろう！

～紫外線について学ぼう～

紫外線があたると色が変わる UV ビーズでストラップを作成し、紫外線の不思議を体験した。

また、紙幣の印刷や郵便物仕分け、飲料缶などに目に見えない印刷として利用されていることを紹介した。



今回のイベントには総勢 16,609 名の来場者があり、いろいろなブースでの実験を体験し楽しんでいただきました。



技術支援センターのブースには 492 名の来場者があり、UV ストラップ作りを通して紫外線について学んでいただきました。



出来上がった UV ストラップに紫外線をあて、色が変わることを確認しました。



紙幣・封筒・飲料缶に紫外線をあて目に見えない印刷がされていることを確認しました。

ハイブ長岡で開催された「青少年のための科学の祭典 新潟県大会」に技術支援センターとして出展しました。UV ビーズを使ったストラップ作りを通して、楽しみながら紫外線の不思議な性質と利用について考える良い機会となりました。

